


# 意外と聞けないセキュリティ・トラブルシューティング・ネットワーク運用監視の実態 ユーザ事例セミナー

2019年 12月 3日 (火) 定員 100名 \*参加費 無料

13:00~17:30 (受付開始 12:30) ◆懇親会◆17:30~19:00 \*無料

■会場：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール4A (東京都中央区八重洲1-2-16)

▽申込はこちら  : 以下URLより所定事項をご記入の上お申し込みください

[https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/management\\_201912.html](https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/management_201912.html)

※同業他社のご参加はお断りする場合がございますので、ご了承下さい。

## プログラム

13:00-13:10	ご挨拶
13:10-14:10	<p><b>基調講演</b></p> <p style="text-align: right;"><b>早稲田大学 名誉教授</b>                  日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) 理事長                  内閣サイバーセキュリティセンター 研究開発戦略専門調査会 会長                  Stanford大学 元客員研究員  <b>後藤 滋樹 氏</b></p> <p><b>「セキュリティ対策の要諦はデータの共有」</b></p> <p>■講演概要                  ネットワークの運用管理のためには、トラフィックを可視化することが不可欠です。初期のネットワーク・アナライザの用途は、障害対応あるいは機器の仕様の確認でした。時代が進み、インターネットが拡大するとセキュリティの課題が顕著になりました。本講演では初期のアナライザの時代を振り返りつつ、サイバー・セキュリティの対策のためには多地点における長時間の観測が必要となること。さらにAIの学習のためには悪性のデータだけではなく良性的データも重要であることから、データ共有が肝要であることを説明します。</p>
14:10-14:30	<p><b>「「人」を狙うサイバー脅威とどう戦いますか？」</b>                  ～Human Firewallを全社員で実現するためのセキュリティ意識トレーニングとは～</p> <p>■講演概要                  昨今増え続ける標的型メール攻撃、ランサムウェア。これを防御するためにはシステム+セキュリティ意識を持った人で対策する必要があります。セキュリティ意識を持つためには年に1,2回の教育だけでは不十分です。今回のセミナーでは「人」をファイアーウォールとして機能する事を可能にするKnowBe4セキュリティ意識向上トレーニングプラットフォームをご紹介します。このサービスは既に28,000社の導入実績があり、ROIも127%という報告されています。</p>
14:30-14:50	休憩
14:50-15:40	<p><b>技術講演</b></p> <p><b>「意外と知らないネットワーク管理の基礎技術と経験から学ぶトラブルシューティングの基本」</b></p> <p>■講演概要                  ネットワーク管理で有効な基礎技術と収集した管理データから分かるネットワーク管理方法についてお話しします。また、ネットワーク障害発生時におけるパケットキャプチャツールの有効な使用方法についてもご説明します。</p>
15:40-16:00	休憩
16:00-17:00	<p><b>ユーザ事例講演</b></p> <p style="text-align: right;"><b>愛知県サイバーテロ対策協議会 加盟病院</b>  <b>一般社団法人 日本海員掖済会病院</b>  <b>名古屋掖済会病院 情報管理センター</b>                  センター長補佐  <b>宮本 恵介氏</b></p> <p><b>「今、電子カルテシステムに求められるネットワーク管理体制」</b></p> <p>■講演概要                  救急救命センターを抱え、24時間365日診療を行っている病院においてコンピュータネットワークはミッションクリティカルなものとなっている。止めない、強固なセキュリティ、安定した無線LANをテーマとした運用管理を掲げているが、新旧資産を統合管理する難しさ。不特定多数の人が出入りする環境下でのセキュリティの確保、目に見えない無線環境の整備など日々の運用管理している姿をご紹介します。</p>
17:00-17:20	<p><b>「パケットキャプチャツールの未来像」～パケットからナレッジへ～</b></p> <p>■講演概要                  トラフィック量は年々増加しており、キャプチャツールが扱うパケットデータも膨大なものになっています。管理者は大量のパケットから、セキュリティやネットワーク監視、トラブルシューティングなど多岐にわたる“ナレッジ”を抽出しなくてはなりません。これからのキャプチャツールに求められる価値とは何か？東陽テクニカが考えるソリューションをご紹介します。</p>
17:20-17:30	質疑・応答
17:30-19:00	懇親会 ※無料 (会場：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール4B)

申込はこちら ☒ : 以下URLより所定事項をご記入の上お申し込みください  
[https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/management\\_201912.html](https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/management_201912.html)

※同業他社のご参加はお断りする場合がございますので、ご了承下さい。

## 講師紹介

基調講演

### 「セキュリティ対策の要諦はデータの共有」

早稲田大学 後藤 滋樹 氏

東京大学理学部数学科卒業、同大学大学院修士課程修了、NTT研究所に勤務。在職中に情報工学の博士号を取得。1980年代に日本の国家プロジェクト「第五世代コンピュータ」に参加した経歴を持つ。1984年8月から一年間、米国Stanford大学の客員研究員となり人工知能の研究に従事。米国ARPAネットの利用者となる。1985年に帰国後、JUNETの活動に参加してネットワーク資源の管理グループjunet-adminの一員となる。その役割を引継いだJPNICの現在の理事長。1996年4月に早稲田大学教授となり、学生と一緒にサイバー・セキュリティの研究を推進。2019年4月に名誉教授となる。

早稲田大学 名誉教授  
日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) 理事長  
内閣サイバーセキュリティセンター 研究開発戦略専門調査会 会長  
Stanford大学 元客員研究員  
後藤 滋樹 氏



ユーザ事例講演

### 「今、電子カルテシステムに求められるネットワーク管理体制」

愛知県サイバーテロ対策協議会 加盟病院 名古屋掖済会病院 宮本 恵介 氏

#### ■略歴

2009年 一般社団法人 日本海員掖済会病院 名古屋掖済会病院 書記

2018年 えきさい看護専門学校 情報科学非常勤講師 兼任

#### ■学会発表

2012年 第62回 日本病院学会 「電子カルテ用無線LANの効率化と可能性の調査」

#### ■主な業務歴

名古屋市医師会 病診連携システム「なごや病診連携ネット」連携プロジェクト

名古屋市医師会 医療・介護ネットワーク「はち丸ネットワーク」連携プロジェクト

NPO法人SCCJ パーソナルヘルスレコード「ポケットカルテ」連携プロジェクト

一般社団法人 日本海員掖済会病院  
名古屋掖済会病院 情報管理センター  
センター長補佐  
宮本 恵介氏



## 会場案内図

### 会場：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール4A

東京都中央区八重洲1-2-16

#### ■地下鉄

- 東京メトロ東西線：日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分
- 東京メトロ銀座線：日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分
- 都営浅草線：日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分

#### ■JR

- 京浜東北線：東京駅 日本橋口 徒歩4分
- 京葉線：東京駅 日本橋口 徒歩4分
- 快速エアポート成田：東京駅 日本橋口 徒歩4分
- 快速アクティール：東京駅 日本橋口 徒歩4分

#### 【問い合わせ先】

〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部 セミナー担当

TEL：03-3245-1250 E-mail：[ict\\_contact@toyo.co.jp](mailto:ict_contact@toyo.co.jp)



TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター  
東京都中央区八重洲1-2-16  
TGビル

「はかる」技術で未来を創る

 東陽テクニカ